



きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



令和8年6月29日発行
文責 校長 泊 裕人

嬉しい気持ち

人と話をするとき、挨拶を交わすとき、あるいは大勢に向かって何かを呼びかけるとき。相手から何かしらの「反応」が返ってくることは、本当に嬉しく、心強いものです。



先日、図書館だよりや各学級からのお便りで「週末読書」のすすめについてお知らせしたところ、早速、保護者の皆さまからたくさんのあたたかいリアクションをいただきました。その一部をご紹介します。



学校 HP もご覧ください

「親子読書しよう！」と声をかけてくれ、選んだ本は「うかぶかな？しずむかな？」という、いろいろな物を浮かべてみようという本でした。私(母)に「どっちだと思う？」と問題を出しつつ、「え？しずんだよ！」と2人で驚いたりしつつ楽しんでいました。

いろいろなものを浮かべて、そのきまりなどが見つかる面白いですね。自由研究に使える。



バムもケロもとても愛くるしいキャラクターです。大好きです。

『バムとケロのおかいもの』
口を大きく開けハキハキと感情を込めて読み聞かせてくれました。とても上手でした。

めずらしく絵本を選んでいるなと思っていたら、妹とお気に入りの人形たちを連れて布団にもぐり、お話し会を開いていました。が、妹はすぐにあきてしまったため…即、漫画読書に切り替えていました。(笑)
最近、歴史マンガにハマっていて、徳川家康が推しだそうです!!

今、「豊臣兄弟」やっていますね。登場するのでしょうか？



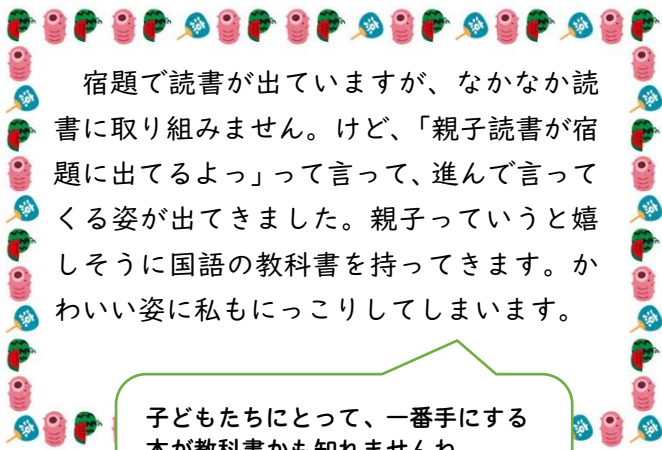
寝る前の読み聞かせが功を奏したのか、本好きな子に育っています。お陰で私も本を読む時間が確保できるようになり、一石二鳥。カフェと一緒に、ゆったり読書。オススメです。

どんなタイミングで読んでもいいんですね。落ちつく時間を。

親子読書、取り組みできていません。静かに心を落ち着かせて本と向き合いたいと思いつつ…できていません。改善して親子で取り組みたいです。

日々の生活の忙しさは、みんな共通していると思います。慌ただしい日常のなかでも、その時間を作っていこうと考えてくださっていることが嬉しいです。ありがとうございます。





宿題で読書が出ていますが、なかなか読書に取り組みません。けど、「親子読書が宿題に出てるよっ」って言って、進んで言うてくる姿が出てきました。親子っていうと嬉しそうに国語の教科書を持ってきます。かわいい姿に私もにっこりしてしまいます。

子どもたちにとって、一番手にする本が教科書かも知れませんね。どんなお話なのか、まずは読んでおくのもいいかもです。

『いちにち』シリーズですね。次はどんなものになれるのか、わくわくしながら読めそうです。

『いちにち のりもの』

最初は「え〜っ、他の本が良かった。」と乗り気ではなかったのですが、読み始めると絵にツッコミを入れるなど楽しんでくれたようです。読み終えた後に「自分だったらどんなのりものになりたいか」という話題で、家族同士話すこともできました。私自身も楽しむことができた読書タイム。これを機にぜひ続けていけたらと思います。



一方通行ではなく、こうしてお互いに言葉を交わし、みなさんの思いやご感想に触れられることが、これほどまでに有り難く、励みになるものなのだ改めて実感しています。お寄せいただいたお言葉はもちろん、その文字からも、子どもたちや担任へのあたたかな眼差しが伝わってきました。

みなさんからのメッセージは、担任にとって大きな心の支えであり、「次も頑張ろう！」という素晴らしいモチベーションになっています。いつも学校をあたたく支えてくださり、本当にありがとうございます。



【地域の方と…】

6月9日（火）に3年生の子どもたちが“千の花の会”のみなさんと一緒に、学校の花壇に花の苗を植えました。苗の植え方について説明をしていただき、実際に花壇に苗を植えました。

“聞く”のと実際に“やってみる”のでは違って、なかなか上手くいかないところもありましたが、その都度、丁寧に教えていただいたお陰で、すべての苗を植え終えることができました。



ありがとう
ございました！

